

松禪寺報

第 86 号

<http://syozen.com>
<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和元年 12 月 25 日

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

いのち

人の身体は約六十兆個の細胞からできていと言われています。その六十兆の細胞は、古くなったものから日々剥落していきます。垢や糞尿となって体外に排泄されるのです。一方、毎日摂取する栄養素からは新しい細胞が作り出されます。つまり、新陳代謝です。さて、このような過程を繰り返して、

返して、人間の細胞の新陳代謝は、約七年で一サイクルを終えるそうです。そうすると、一秒あたり三十二万個の細胞が生き死にを分けることになります。ということは、一瞬前の自分と今このときの自分とは、細胞という微細な物質のレベルでは、同じ自分ではないと言えそうです。人間の老化ということは、細胞の新陳代謝が鈍化することによっているのです。

しかし現実のレベルとしては、昔の自分と今の自分は同じ自分です。シワが増え、体力が衰え、記

憶が悪くなることはあっても、自分という存在が、別の存在に変わるわけではありません。

これは、考えてみればとても不思議なこと。物質レベルでは刻々と変化していても、私はずっと私なのです。では過去の自分と、今現在の自分とを繋ぎ止めているもの、それは何でしょうか？

私は、それが「いのち」に他ならないと思うのです。この「いのち」とは、物質と時間の接点にいて、それを繋いでいるものです。だからもちろん、物質と時間、どちらをおろそかにしても、「いのち」は消滅してしまうのです。したがって、細胞の新陳代謝を活性化するための「からだ」への気配りと同時に、過去の自分を振り返り、これからの自分を見つめる努力、つまり「時間」への配慮が大切になってきます。

新しい年を目前にして、常に「いのち」を生き活きと働かせて、さわやかに生きていきたいものです。



▲インドのブダガヤに建つ大菩提寺。そこにある金剛宝座と菩提樹は、お釈迦様が坐され悟りを得られた場所で世界各地の仏教徒が訪れている。お釈迦様は「いのち」を輝かす智慧を体得された。

平成から令和へ、この一年を振り返りかえって

松禪寺と花園会の連係で年間事業も滞りなく円成しました

今年も残すところ数日となりました。5月、平成から令和へと元号が変わりました。首相官邸の発表では「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められております。」と伝えられました。「氣淑く風和ぐ」平穩無事な時代が続くことを願うばかりです。

さて、松禪寺と花園会の一年を振り返ってみましょう。

【1月】

1日：大般若祈祷会。多くの皆さんが寺へ新年のご挨拶に来られました。午後には桂昌



▲本山布教師の法話会＝3月19日

寺でも、檀家さんが本堂に集まって読経し、新年のご挨拶をしました。2日、3日：檀信徒皆様の各家を訪問して祈祷札などをお配りし、遠方の檀信徒



▲山陰東教区坐禅会＝6月8日、9日

皆様には郵送いたしました。

8日：初葉師、妙心寺派宗務本所仕事始め。
19日：総代会。新総代の選任、正副会長等の互選。予算決算を協議。新旧総代9名出席。

【2月】

3日：評議員総会開催、17名出席。新総

代の報告、決算予算等を議決。開会に先立ち、本堂に置いて涅槃会を執行。
16日：山陰東教区住職研修会（和田山ホテル）
25日：「松禪寺報」第82号と評議員総会等の資料をまとめた「松禪寺花園会資料」を全檀信徒へ配布。併せて護持会会費前期を請求。

【3月】

15日：本堂東司（便所）の天井一部張り替えの工事。
19日：春季定期巡教。布教師・五葉光



▲葉師祭・お寺 de ライブ＝7月7日

5日：お釈迦様の生誕を祝う花まつり執行。同日、出石・但東仏教会でも花まつりを開催。
11日：山陰東教区寺院総会、和田山ホテルにて。住職出席。
16日：庫裡1階の障子21枚、小サイズ4枚の張り替えを業者に依頼。
19日：午前8時より第1回境内掃除。総代6名と、

鐵師（大洲市・城願寺）。テーマ「おかげさまの心」たよらないのが仏さま！無依道人」参加者19名。

21日：春彼岸会。30名の参加。11時より法要、正午よりお斎。ビデオ「仏教の担い手どう増やす？」鑑賞。午後8時、桂昌寺で彼岸法要執行。

【4月】

5日：山陰東教区第二部部内会、和田山ホテルにて。柴田総代出席。

7日：山陰東教区監査、和田山ホテルにて。住職出席。

22日：庫裡北側の廊下改修工事着工。

25日：「松禪寺報」第83号と花園会本部「おかげさま」を評議員に配布。

26日：庫裡北側の廊下改修工事完了。

【5月】

清滝、本城、柴地、大貝、佐田、石原、久畑の評議員と有志10人の参加で、境内周辺の草刈りなどを実施。

25日：妙心寺山内・東海庵齋会。臥雲仁山老漢小祥忌。住職出席。

【6月】

2日：おたび（本城、柴地の各隣保）

8日：山陰東教区第36回坐禅会、松禪寺にて。妙心寺山内・靈雲院の則竹

秀南老大師来山。参加者58名。

9日：坐禅会2日目。参加者42名。

【7月】

1日：施餓鬼初盆供養の案内発送。

5日：シルバー人材センターの境内の剪定と刈り込み作業。（6日午前まで）。

6日：薬師祭の餅つき。午後5時より栗尾ふるさと委員と有志20名で47kg、17臼を搗く。

7日：薬師祭。写経、開会式、法要、お寺deライブ（トミーさん）、餅まき。50名参加。

10日：石段修復工事が完了しました。

20日：「松禪寺報」第84号、山陰東教区報、花園会本部「おかげさま」を評議員宅に配布。

町外は郵送。

28日：午前8時より第2回境内掃除。総代6名と、上山根、下山根、貝田、平田、中路、宮本、檜谷の評議員と有志11人の参加で、境



▲境内掃除＝5月19日、7月28日

内周辺の草刈りなどを実施。終わって、第2回総代会。施餓鬼棚の組立。

【8月】

7日：松禪寺施餓鬼会。8霊の初盆供養のほか、先祖供養、鶏魂供養を執行。

9日：棚経、13日まで。全114軒。

18日：桂昌寺施餓鬼会。初盆3霊。

24日：栗尾高年クラブ物故者追悼会。

25日：元本寺・天寧寺様の開山忌。

【9月】

23日：第3回総代会、後半の事業等について協議。秋彼岸会。22人の参拝で、午前11時より法要。妙心寺派管長様からの米寿のお祝い（寿詞と輪袈裟）を伝達、百歳2名、米寿該当者は4人。斎座。午後8時から、桂昌寺で彼岸法要を執行。

24日：「松禪寺報」第85号評議員に配布。併せて護持会会費後期分を請求。

【10月】

2日：秋季特別布教、幸徳殿にて。柴田総代、福田総代、渡辺総代出席。

10日：山陰東教区第二部部内会、柴田総代出席。

13日：秋祭り

26日：山陰東教区花園地方



▲達磨忌・開山忌＝11月3日

大会、幸徳殿にて。柴田総代、福田総代、渡辺総代、住職が出席。

【11月】

3日：達磨忌及び松禪寺開基・開山忌。午前11時より法要。斎座。午後、方広寺派管長・安

永祖堂老師のDVD鑑賞。約30名。夜には桂昌寺でも達磨忌を執行。

5日：京都・大徳寺僧堂の雲水3名来山。

10日：寺院役員本山研修会、妙心寺にて。渡辺総代、中島総代出席。11日まで。

14日：京都・妙心僧堂の雲水3名が夕方到着。

15日：妙心僧堂の托鉢。佐々木、相田、小谷、正法寺、平田、久畑、佐田、栗尾を托鉢。

20日：玄関アプローチのコンクリート打設工事着工。25日に工事完了。

26日：当山寺庭の母の葬儀執行。

30日：第4回総代会。

【12月】

24日：妙心寺派宗務本所仕事納め。

25日：「松禪寺報」第86号を発行。

29日：正月の餅搗き。

31日：除夜の鐘撞き。



▲妙心僧堂托鉢＝11月15日

達磨忌と開山忌 を営みました

達磨忌と開山忌を11月3日（文化の日）に営み
報恩の念を捧げました。朝8時半から当番さんが
お斎の料理にかかり、午前11時に約30人の参拝の
皆さんと一緒に、本堂正面に安置した達磨大師像、

開基・開山和尚様の位牌を前に法要を行いました。
法要後は、けんちん汁、ふろふき大根、白
和え、茶飯のお斎をいただきました。和やかな
お斎を終えた後、方広寺派管長・安永祖堂老師
のインタビューDVD「法は人によって尊し」
（禅文化研究所発行）を鑑賞しました。
本年最後の花園会行事も無事終えることがで
きました。ご協力、ご参加いただいた皆さんに
感謝申し上げます。

除夜の鐘で年越しを

行く年来る年、大晦日はお寺で除夜の鐘を
撞きませんか。

除夜とは、除日の夜といい、旧年を除く日
といえます。その夜に鳴らす「除夜の鐘」は、
年を越すに当たり人の心に百八つの煩惱を清
らかな鐘の響きで鎮め、新しい気持ちで新年
を迎えようとする仏事の一つです。

12月31日（火）の午後11時45分頃から撞き
始める予定です。本堂、薬
師堂へのお参りもできま
す。温かい飲物なども用意
していますので、ぜひお参
りください。



▲安永老大師のDVDを鑑賞しました

お知らせとお願い

◎新年度の評議員について

松禪寺花園会の評議員14名については、一年で交代
される地区が多いのですが、令和2年の評議員のお名
前を速やかに寺へ報告して下さい。評議員総会は、1
月下旬頃に開催予定です。

◎年頭について

正月2日（木）より年頭に各檀家さん宅を伺います。
2日は但東町内を、それ以外は3日（金）に伺います。
なお、遠方の檀信徒皆様には、祈祷札などは郵送いた
しますので、悪しからずご了承ください。

◎年始受けは例年どおり行います

寺庭の実母が11月23日に逝去いたしました。通夜、
葬儀それぞれに御参列いただきました皆様に厚く御礼
申し上げます。高橋家としては喪中ですが、松禪寺と
しては元旦の年始受けは例年通り行ないますので、元
旦にはどうぞお参りください。

令和二年 年忌一覽

令和2年（二〇二〇）に年忌法要を迎え
る故人の歿年度は、次のとおりです。法要
の実施日については、なるべく早めにご連
絡ください。年忌正当年にあたられるご先
祖様がおられるかの確認は、寺へ電話でお
尋ねくださるか、年忌操出を本堂に貼り出
していますので、寺にお越しの際にご覧下
さい。また、年明けには個別に通知を差し

上げます。

【令和二年年回表】

●一周忌	平成31年没・令和元年没
●三回忌	平成30年没
●七回忌	平成26年没
●十三回忌	平成20年没
●十七回忌	平成16年没
●二十五回忌	平成8年没
●三十三回忌	昭和63年没
●五十回忌	昭和46年没
●百回忌	大正10年没

